

農業・食品産業競争力強化支援事業に関する事業評価シート

【事業名：平成21年度園芸産地再生施設緊急リース事業(周年栽培高温抑制型温室)】

都道府県名	市町村名	事業対象者	リース事業者 (法人格、支店名は略)	対象品目	リース対象物件		事業費 (円)		成果目標の達成状況				事業計画の妥当性	適正な事業の執行	地方農政局長等の意見	備考
					温室(棟数、面積)	内部施設(台数等)	うち国費 (円)	成果目標の具体的内容	成果目標	達成状況	達成率(%)					
広島県	三次市	(有)平田観光農園	JA三井リース	ぶどう	パイプハウス(1棟(9連棟)、3,180㎡)	換気扇(3台)、立体栽培施設(ぶどう棚)(一式)	18,770,824	9,385,000	農業常雇の増加数(人)	2人	3人	150.0%	1	1		要領第2の2の別表2により、達成すべき目標は「①農業常雇を1名以上増加」及び「②事業対象者の農産物販売金額を1割以上」のうち、少なくともいずれか1つを達成することと規定されている。
									販売額の増加率(%)	10.2%	12.4%	121.6%				

(注)

- 1 「事業計画の妥当性」の欄については、事業計画が妥当な場合は1を、計画が不適切な場合は0を記入すること。また、不適切な場合はその理由について備考欄に記入すること。
- 2 「適正な事業の執行」の欄については、事業が適切に実行された場合には1を、それ以外の場合には0を記入すること。また、不適切な場合はその理由について備考欄に記入すること。
- 3 要領第6の2の(1)のウにより、地方農政局長が災害等により事業計画で定めた方法では評価が困難と判断した場合は、その旨を地方農政局長等の意見の欄に記述する。
併せて、代替案で事業評価を実施した場合には、一段下の欄に事業評価の検証方法及び評価結果を記入。

農業・食品産業競争力強化支援事業に関する事業評価シート

【事業名：平成21年度園芸産地再生施設緊急リース事業（先進的省エネルギー加温システム）】

県名	市町村名	事業対象者	リース事業者 (法人格、支店名は略)	対象品目	リース対象物件		事業費 (円)	成果目標の達成状況				事業計画の妥当性	適正な事業の執行	地方農政局長等の意見	備考	
					温室 (棟数、面積)	内部施設(台数等)		うち国費 (円)	成果目標の具体的内容	成果目標	達成状況					達成率 (%)
高知県	須崎市	(有)笹岡 花卉農園	日立キャピタル	オキシペタルム	-	ヒートポンプ (2台(親機・子機))	1,834,000	917,000	加温に係るランニングコストの低減率(%)	-	-	-	1	1	成果目標の「安定的エネルギー源への代替率」については、冬期の低温のため、加温機を使用せざるを得なかったこと、加温機の不具合により、達成率は62.5%と目標達成に至らなかった。 今後は、引き続き取組状況を確認し、必要に応じて担当原課である園芸特産課において適切な指導を行う。	要領第2の2の別表2により、達成すべき目標は「①加温に係るランニングコストを1割以上削減」及び「②安定的なエネルギー源へ2割以上代替」のうち、少なくともいずれか1つを達成することと規定されている。
									安定的エネルギー源への代替率(%)	80.0%	50.0%	62.5%				
									農業常雇の増加数(人)	-	-	-				
									販売額の増加率(%)	-	-	-				
島根県	浜田市	青葉真	JA三井リース	バラ	-	ヒートポンプ (4台)	3,809,524	1,904,000	加温に係るランニングコストの低減率(%)	47.0%	16.0%	34.0%	1	1	成果目標の「加温に係るランニングコストの低減率」及び「安定的エネルギー源への代替率」については、重油代の高騰によりランニングコスト低減が図れなかったこと、ヒートポンプの故障により燃油ボイラーを使用せざるを得なかったことから重油使用量が増えたことにより、それぞれ達成率は34%及び83.8%と目標達成に至らなかった。 今後は、引き続き取組状況を確認し、必要に応じて担当原課である園芸特産課において適切な指導を行う。	要領第2の2の別表2により、達成すべき目標は「①加温に係るランニングコストを1割以上削減」及び「②安定的なエネルギー源へ2割以上代替」のうち、少なくともいずれか1つを達成することと規定されている。
									安定的エネルギー源への代替率(%)	69.9%	58.5%	83.7%				
									農業常雇の増加数(人)	-	-	-				
									販売額の増加率(%)	-	-	-				
香川県	丸亀市	栗熊菊 生産組合	JA三井リース	キク	-	ヒートポンプ (22台)	14,855,000	7,056,000	加温に係るランニングコストの低減率(%)	43.4%	-4.3%	-9.9%	1	1	成果目標の「加温に係るランニングコストの低減率」及び「安定的エネルギー源への代替率」については、低温開花性品種を大幅導入したものの、品質向上のために高い温度設定にせざるを得ず、燃油使用量を削減できなかったことにより、それぞれ達成率は-9.9%及び69.7%と目標達成に至らなかった。 今後は、引き続き取組状況を確認し、必要に応じて担当原課である園芸特産課において適切な指導を行う。	要領第2の2の別表2により、達成すべき目標は「①加温に係るランニングコストを1割以上削減」及び「②安定的なエネルギー源へ2割以上代替」のうち、少なくともいずれか1つを達成することと規定されている。
									安定的エネルギー源への代替率(%)	89.9%	62.7%	69.7%				
									農業常雇の増加数(人)	-	-	-				
									販売額の増加率(%)	-	-	-				
高知県	土佐市	松田徹	JA三井リース	ピーマン	-	ヒートポンプ (2台)	1,590,000	755,000	加温に係るランニングコストの低減率(%)	34.9%	-68.9%	-197.3%	1	1	成果目標の「加温に係るランニングコストの低減率」及び「安定的エネルギー源への代替率」については、冬期の低温のため、加温機を使用せざるを得なかったこと、重油価格の高騰により、それぞれ達成率は-197.3%及び81.2%と目標達成に至らなかった。 また、「農業常雇の増加」については、経営面から、新規雇用に至らなかったことにより、達成率は0%と目標達成に至らなかった。 今後は、引き続き取組状況を確認し、必要に応じて担当原課である園芸特産課において適切な指導を行う。	要領第2の2の別表2により、達成すべき目標は「①加温に係るランニングコストを1割以上削減」及び「②安定的なエネルギー源へ2割以上代替」のうち、少なくともいずれか1つを達成することと規定されている。
									安定的エネルギー源への代替率(%)	77.5%	62.9%	81.2%				
									農業常雇の増加数(人)	1人	0人	0.0%				
									販売額の増加率(%)	-	-	-				

農業・食品産業競争力強化支援事業に関する事業評価シート

【事業名：平成21年度園芸産地再生施設緊急リース事業（先進的省エネルギー加温システム）】

県名	市町村名	事業対象者	リース事業者 (法人格、支店名は略)	対象品目	リース対象物件		事業費 (円)	成果目標の達成状況				事業計画の妥当性	適正な事業の執行	地方農政局長等の意見	備考	
					温室 (棟数、面積)	内部施設(台数等)		うち国費 (円)	成果目標の具体的内容	成果目標	達成状況					達成率 (%)
高知県	安芸郡 安田町	西山正純	JA三井リース	ナス	-	ヒートポンプ (4台)	3,300,000	1,581,000	加温に係るランニングコストの低減率(%)	21.9%	-108.7%	-496.3%	1	1	成果目標の「加温に係るランニングコストの低減率」及び「安定的エネルギー源への代替」については、冬期の低温のため、加温機を使用せざるを得なかったこと、重油価格の高騰により、それぞれ達成率は-496.3%及び17.1%と目標達成に至らなかった。 また、「販売額の増加率」については、販売単価が計画を下回ったため、達成率は-31.8%と目標達成に至らなかった。 今後は、引き続き取組状況を確認し、必要に応じて担当原課である園芸特産課において適切な指導を行う。	要領第2の2の別表2により、達成すべき目標は「①加温に係るランニングコストを1割以上削減」及び「②安定的なエネルギー源へ2割以上代替」のうち、少なくともいずれか1つを達成することと規定されている。
									安定的エネルギー源への代替率(%)	93.6%	16.0%	17.1%				
									農業常雇の増加数(人)	1人	2人	200.0%				
									販売額の増加率(%)	21.4%	-6.8%	-31.8%				
高知県	安芸郡 安田町	中野賢一	JA三井リース	ナス	-	ヒートポンプ (4台)	3,350,000	1,591,000	加温に係るランニングコストの低減率(%)	18.1%	-91.1%	-503.3%	1	1	成果目標の「加温に係るランニングコストの低減率」及び「安定的エネルギー源への代替」については、冬期の低温のため、加温機を使用せざるを得なかったこと、重油価格の高騰により、それぞれ達成率は-503.3%及び45.8%と目標達成に至らなかった。 また、「販売額の増加率」については、販売単価が計画を下回ったため、達成率は54.1%と目標達成に至らなかった。 今後は、引き続き取組状況を確認し、必要に応じて担当原課である園芸特産課において適切な指導を行う。	要領第2の2の別表2により、達成すべき目標は「①加温に係るランニングコストを1割以上削減」及び「②安定的なエネルギー源へ2割以上代替」のうち、少なくともいずれか1つを達成することと規定されている。
									安定的エネルギー源への代替率(%)	82.6%	37.8%	45.8%				
									農業常雇の増加数(人)	1人	1人	100.0%				
									販売額の増加率(%)	25.7%	13.9%	54.1%				
高知県	高岡郡 日高村	松岡弘城	JA三井リース	ガーベラ	-	ヒートポンプ (1台)	790,000	375,000	加温に係るランニングコストの低減率(%)	9.6%	-66.7%	-694.8%	1	1	成果目標の「加温に係るランニングコストの低減率」及び「安定的エネルギー源への代替」については、冬期の低温のため、燃油ボイラーを使用せざるを得なかったことにより、それぞれ達成率は-694.8%及び27.1%と目標達成に至らなかった。 今後は、引き続き取組状況を確認し、必要に応じて担当原課である園芸特産課において適切な指導を行う。	要領第2の2の別表2により、達成すべき目標は「①加温に係るランニングコストを1割以上削減」及び「②安定的なエネルギー源へ2割以上代替」のうち、少なくともいずれか1つを達成することと規定されている。
									安定的エネルギー源への代替率(%)	46.2%	13.3%	28.8%				
									農業常雇の増加数(人)	-	-	-				
									販売額の増加率(%)	-	-	-				

(注)

- 「事業計画の妥当性」の欄については、事業計画が妥当な場合は1を、計画が不適切な場合は0を記入すること。また、不適切な場合はその理由について備考欄に記入すること。
- 「適正な事業の執行」の欄については、事業が適切に実行された場合には1を、それ以外の場合には0を記入すること。また、不適切な場合はその理由について備考欄に記入すること。
- 要領第6の2の(1)のウにより、地方農政局長が災害等により事業計画で定めた方法では評価が困難と判断した場合は、その旨を地方農政局長等の意見の欄に記述する。
併せて、代替案で事業評価を実施した場合には、一段下の欄に事業評価の検証方法及び評価結果を記入。